

あ と が き

今年の 10 月 1 日をもって旧日本原子力研究所と旧核燃料サイクル開発機構が統合し、(独) 日本原子力研究開発機構が発足した。1963 年以来綿々と続けられてきたシグマ委員会の活動にも大きな影響があることは必至である。1968 年に原研に作られた「核データ研究室」は 1977 年に「核データセンター」と改称され、以来 28 年間核データの整備に携わってきたが、核データセンターも「核データ評価研究グループ」と名を改めることとなった。今後の核データ整備が今まで同様に進められるかは未知数である。本誌「核データニュース」も定期印刷物として発行を続けられか、予断を許さない状況である。

海外では、OECD/NEA データバンク加盟国の JEFF-3.1 が今年 5 月に公開された。米国の ENDF/B-VII は今年 12 月に公開の予定である。世界 3 大ライブラリーの 1 つである JENDL としては、これらのライブラリーに劣らない核データを JENDL-4 で提供しなければならない。そのためには、国内の研究者の協力が不可欠である。組織が変わり国内協力の形態にも変化があるであろうが、核データに関する情報伝達・記録の手段として「核データニュース」が今後も活躍できることを祈っている。

中川 庸雄

nakagawa.tsuneo@jaea.go.jp

核データニュース編集委員会

中川庸雄 (委員長、原子力機構)、井頭政之 (東工大)、岩本 修 (原子力機構)、
長谷川明 (原子力機構)、山野直樹 (東工大)、吉田 正 (武蔵工大)、
[オブザーバ] 喜多尾憲助、[編集] 石橋貞子